

6. まとめ

本報告は、栄村における災害対応のうち、安否確認と住民への広報について着目したものである。今回、栄村において災害対応がスムーズに行えたのは、比較的人口規模も少なく、小規模な集落で構成された村であった、という要因が大きいと考えられる。近年では、市町村合併等で、人口規模が大きく、管轄面積が広がった自治体が増えており、大規模な自治体にとっては、今回の事例をそのままスライドさせ、適用することは難しい部分があると考えられる。しかしながら、集落単位での防災体制の構築など、今回の栄村の災害対応事例は、全国の他の自治体にとって、少なからず参考になる有用な取り組みではないかと考える。

災害が頻発する近年においては、毎年どこかの市町村で災害対応が行われている。今後も、他の自治体にとって有用と思われる災害対応の事例を調査・研究していくとともに、全国の自治体の参考となるような情報を収集し、広く伝えていきたいと考えている。

最後に、今回のヒアリング調査、原稿のとりまとめにご協力及び関連資料のご提供を頂いた栄村役場総務課の石沢清人行政係長と関係職員の皆さまに深く感謝の意を表する次第である。

【参考文献】

- (1) 消防庁災害対策本部，平成 23 年(2011 年)東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）について（第 137 報），2011.8.25